

# 令和7年度事業報告書

自 令和7年4月 1日

至 令和8年3月31日

## 1. 事業概要

一般財団法人奈良市総合財団は、奈良市が設置する公共施設の指定管理者として、利用者の視点に立った管理運営に努め、多様化するニーズに応じてあらゆる人にとって利用しやすい施設を目指すとともに、文化・スポーツ・武道の普及振興事業及び「ならまち」の歴史文化資産を利用した地域振興事業並びに中小企業勤労者に対する福利厚生事業を実施し、文化の創造及び市民福祉の増進に努めた。

当財団の運営については、令和6年度に経営計画を策定し、新しい事業の創出及び既定事業の見直し、収益性の確保や経費節減、事業の質的向上を柱とする収支不足対策を具体化して、経営改革を積極的に推進してきた。令和7年度においても、収益性の確保や経費節減については厳しい状況であるなか、引き続きこの経営計画に基づく取り組みを着実に進めた結果、一定の成果を上げることができた。

一方で、近年の物価上昇等に伴い、人件費・光熱水費・委託費をはじめとする各費用の増加が続いている。こうした費用増加を補う指定管理料の一部増額措置が図られたものの、経営環境は依然として厳しい状況にあり、引き続き経営計画に基づく取り組みを着実に進めていく必要がある。

今後の財団運営にあたっては、このような状況が続く中であっても、市民の要請にきめ細かく応え続けることこそが当財団の果たすべき役割であるとの認識のもと、内部統制の整備や職員の育成を積極的に進めながら、地域社会の発展に寄与すべく、一層の取り組みを推進していく。

## 2. 事業内容

各施設の設立趣旨等を踏まえた管理運営と文化の創造と福祉の増進に寄与することを目的として文化振興事業、スポーツ・武道普及振興事業、まちづくり振興事業、勤労者福祉サービス事業を推進した。

### (1) 文化振興事業

#### [指定管理施設]

管理施設の入館者数は以下のとおりであった。 ※（ ）内は対前年度増減率

なら100年会館	入館者数	225,644人	(7.1%)
奈良市美術館	入館者数	37,335人	(△9.3%)
奈良市杉岡華邨書道美術館	入館者数	6,316人	(△21.6%)

なら100年会館では催事等の参加人数が増えたことで、入館者数は前年度より約15,000人増加した。

奈良市美術館においては、催事等の開催回数が前年度より3回増加し、参加人数は約7,000人増加したものの、貸館の利用内容の影響により約3,800人の減少となった。一方、奈良市杉岡華邨書道美術館では、催事等の開催回数が増加したものの、入館者数は伸びなかった。

(事業内容)

豊かな市民文化の形成を図り、鑑賞・創造・学習を柱に市民の美術鑑賞と創作活動の活性化に寄与するための事業を実施した。

○なら100年会館

奈良にゆかりのある次世代を担う若手演奏家に対し、活動の機会を提供することを目的に「なら100クラシックコンサート」を実施したほか、子どもやファミリー層を対象とした事業として「0歳から入れるファミリーコンサート with 大阪交響楽団」、「なら100紙芝居」、「忍たま乱太郎ショー」等を実施した。また、近隣住民参加のもと避難訓練を実施し防災意識の向上を図る「防災コンサート」を実施した。

アウトリーチ事業としては、奈良市立大宮小学校に大阪交響楽団を派遣し、校内コンサートを実施した。

協働・共催事業としては、大宮地区自治協議会との「大宮まつり」、市民フェスティバル実行委員会との「なら市民フェスティバル」を実施した。

さらに音楽に親しむ機会の提供として、ピアノ愛好者を対象に、3機種のグランドピアノを活用した「ピアノ試弾会」、18歳以上を対象とした「ゆうゆうコーラス」、未就学児とその保護者を対象とした「たのしいリトミックイベント」を開講した。加えて、市民の健康づくりを支援するため、「健康いきいき講座（ヨガ教室、ソフトストレッチング、ピラティス）」を実施したほか、中高年層や若年層を対象に、昭和歌謡・ポップスのコンサートや若手アーティストによる全国ツアー系コンサートを開催し、幅広い世代に対して文化活動への参加を促進した。

催事等の開催回数 231回 参加人数 82,539人

○奈良市美術館

主催・共催による展覧会として、奈良市美術家協会と連携して会員による優れた作品を展示する「第44回奈良市美術家展」、美術作品の創作意欲を高めるための公募展「第44回市展なら」、近代奈良の芸術、歴史、生活文化を掘り下げて紹介するシリーズの企画展「奈良を観る」、児童生徒の図工美術の成果を紹介する「第22回奈良市児童生徒作品展」、市内中学校の美術作品を紹介する「第6回奈良市中学校美術部合同展 若鹿たちの美術」、奈良市美術館活性化事業として子どもから大人まで楽しめる「シルクロードの暮し～絨毯、茶道 そして建築～」及び「pook展～てのひら

散策～」を開催し市民文化の創造と振興の促進を図った。

その他、講座関連事業として、奈良市美術家協会や奈良女子大学との連携協力による「2025年度市民実技講座・子どものやさしいアート体験」、「第43回市民実技講座作品展」、「仏教美術講座」を開催し芸術文化の発信に寄与した。

催事等の開催回数 24回 参加人数 23,402人

#### ○奈良市杉岡華邨書道美術館

展覧会として、杉岡華邨の顕彰と奈良から新たな書道文化を発信することを目的に「第1回なら華邨賞」を創設し、全国から40歳以下の若手作家の作品を集める公募展を開催した。また、高木厚人館長の日本芸術院賞受賞を記念し、これまでの書作を振り返る「高木厚人展」や「江戸の書画」展の第2期、奈良教育大学との連携による「第2回書で巡るまほろば展」等の企画展や館蔵作品による「林立する華邨の書—響きあう行と行—」展や「華邨の心の書—柳宗悦のうたを中心に—」展を開催した。

また、「なら華邨賞」に合わせ奈良市教育委員会との連携による「ミニ華邨賞書道コンクール」や開館25周年記念講演と席上揮毫、ギャラリートーク、解説会、奈良教育大学との連携事業の講座やワークショップを開催した。

書道実技講座として初歩からかな書を学ぶ隔月開催の講座やゼロからの集中講座、初心者でも参加できるうちわ・カレンダーを書くワークショップ、高木厚人館長が課題作品を講評・指導する講座「かなの散らしを楽しむ」、水書きで気軽に書道を体験できる「筆書き体験コーナー」や学芸員による「作品解説会」を行った。

その他にも奈良教育大学仮名書道研究室の協力により子ども向けの夏休みクイズやわらべうたフェスタでのワークショップ、さらには未就学児童を対象にした「はじめての子ども筆書き体験講座」等の連携事業を行った。

また、奈良市ならまちセンターとの共催による「ならまち年賀状コンクール」、名勝大乗院庭園文化館での出張パネル展や道ばた美術館の開催、動画配信により奈良市杉岡華邨書道美術館の広報普及を行った。

催事等の開催回数 102回 参加人数 14,659人

#### (2) スポーツ・武道振興事業

##### [指定管理施設]

管理施設の利用者数は以下のとおりであった。 ※（ ）内は対前年度増減率

奈良市鴻ノ池陸上競技場等17体育施設

利用者数 815,085人 (△11.4%)

奈良市鴻ノ池球場

奈良市中央体育館

奈良市中央第二体育館

奈良市南部生涯スポーツセンター体育館

奈良市鴻ノ池陸上競技場

奈良市柏木コート

奈良市鴻ノ池コート

奈良市南部生涯スポーツセンターコート

奈良市中央武道場

奈良市中央第二武道場

奈良市弓道場

奈良市柏木球技場

奈良市南部生涯スポーツセンター球技場

奈良市南部生涯スポーツセンター多目的コート

奈良市鴻ノ池相撲場

奈良市鴻ノ池スケートボードパーク

奈良市鴻ノ池ランニングステーション 以上17施設

奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール等18体育施設

利用者数 280,468人 (4.5%)

奈良市緑ヶ丘球場

奈良市西部生涯スポーツセンター体育館

奈良市青山プール

奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール

奈良市黒谷コート

奈良市平城第一コート

奈良市平城第二コート

奈良市青山コート

奈良市佐保山コート

奈良市西部生涯スポーツセンターコート

奈良市黒谷球技場

奈良市平城第一球技場

奈良市平城第二球技場

奈良市奈良阪球技場

奈良市登美ヶ丘球技場

奈良市西部生涯スポーツセンター球技場

奈良市西部生涯スポーツセンターゲートボール場

奈良市西部生涯スポーツセンタークラブハウス 以上18施設

奈良市鴻ノ池陸上競技場等17体育施設を奈良市スポーツ協会・奥アンツーカ株式会

社と協働で管理運営を行い、各施設で記録会や大会を開催した。「Top Sports City 奈良」のパートナーチームであるプロサッカーチーム「奈良クラブ」が、ロートフィールド奈良、プロバスケットボールチーム「バンビシャス奈良」及びプロバレーボールチーム「奈良ドリーマーズ」がロートアリーナ奈良、奈良市西部生涯スポーツセンター体育館で試合を開催した。また、当施設の情報をよりスムーズに提供できるよう、公式ホームページをリニューアルした。奈良市鴻ノ池運動公園においては、ランニングコース完成に伴う夜間照明（フットライト）が設置された。中央第二体育館、中央第二武道場では空調設備設置及びトイレの改修工事が行われた。

奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール等18体育施設では、シャワー室、トイレの改修が行われた。また、太陽光発電パネルが屋上に設置された。

(事業内容)

体育、スポーツ及び武道の普及振興を図ることにより、健全な心身の維持及び発達並びに明るく豊かな生活の形成に寄与するための事業を実施した。

#### ○奈良市鴻ノ池陸上競技場等17体育施設

奈良市スポーツ協会に加盟している各種団体と連携して競技スポーツの教室や健康増進につながる事業を実施し、新規事業として「陸上競技大会」、幼児を対象にした「走り方教室」を開催した。また、バンビシャス奈良と提携してバスケットボールスクールを開催した。また、民間企業とタイアップし「モルック大会」、「親子サッカー教室」、「ラグビー体験会」を開催した。

武道発祥の中心地として、剣道・柔道・なぎなた・槍術・弓道等の各種武道関連団体との連携協力のもと武道教室を開催し、人格の形成、道徳心の向上等、心の養成を図り、武道人口の裾野の拡大及び活性化に努めた。また、外国人観光客向け武道体験教室では多くの外国人が参加し、体験機会を提供することができた。

催事等の開催回数 2, 179回 参加人数 37, 339人

#### ○奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール等18体育施設

体育館を活用した「ダンベル教室」や「ストレッチ教室」等を実施した。また、バンビシャス奈良と提携して幼児から小学6年生までのバスケットボールスクールを開催した。前年度、屋内温水プールの工事による臨時休館で開催できなかった「水泳教室」、「水中健康運動教室」を再開したことで前年度より事業の開催回数、参加人数はともに増加した。

催事等の開催回数 721回 参加人数 17, 171人

### (3) まちづくり振興事業

[指定管理施設]

管理施設の入館者数は以下のとおりであった。 ※（ ）内は対前年度増減率

奈良市ならまちセンター	入館者数	117,815人	(4.7%)
入江泰吉記念奈良市写真美術館	入館者数	25,356人	(△9.2%)
入江泰吉旧居	入館者数	6,417人	(△6.7%)

奈良市ならまちセンターでは、7月、8月に発生した空調設備の不調により、市民ホールを除く施設の使用制限を行い、また2月、3月は空調設備改修工事に伴い市民ホールを休館したが、1階情報スペースを活用した事業を増やしたことで入館者数は前年度より約5,300人増加した。

入江泰吉記念奈良市写真美術館の入館者数は、6月中旬から約1ヶ月間、施設修繕工事により休館した影響で前年度より約2,500人減少した。入江泰吉旧居は、外国人団体観光客の減少に伴い、前年度より約450人減少した。

(事業内容)

なら・まほろば景観まちづくり条例に基づく奈良町都市景観形成地区を中心とした「ならまち」において、地域の文化振興・活性化のための事業及び広報啓発事業を実施した。

#### ○奈良市ならまちセンター

エントランスホールおよびコトナラボを拠点に、地域住民が自然に集い、交流を深めることで、地域の活性化を促進する事業を実施した。

具体的には、若手演奏家による「ならまちコンサート」や地域の演奏家・声楽家を起用した「エントランスコンサート」等、地域の音楽家を支援する事業を展開した。あわせて、地域文化団体の活動を支援する「子どもおん祭り」等の地域連携型事業、民間事業者と協働して開催する「ならまちDeシネマ」等の共催事業を実施した。また、芝生広場においては、地域住民や観光客の憩いの場の創出を目的に、「青空ブックカフェ」等の芝生活用事業を実施した。さらに、奈良市ふるさと納税を活用した「暮らしに芸術の感動を届けるプロジェクト」と題するアウトリーチ事業のほか、前年度まで奈良市音声館で実施していた伝統文化普及事業を引き継ぎ、6つの教室を含む地域コミュニティ活性化事業として、計15事業を実施した。

これらの定期的なイベントやワークショップを通じて、住民相互のつながりを強化するとともに、地域の事業者や非営利団体の活動支援にも寄与した。

催事等の開催回数 350回 参加人数 61,462人

#### ○入江泰吉記念奈良市写真美術館

展示事業では、戦後の日本社会を取り続けた報道写真家浜口タカシ氏の作品を展示した。また、昨年度に引き続き、奈良女子大学と連携協力し、文化庁「令和7年度大学における文化芸術推進事業」の一環として、大学と当館の強みを活かした事業を展開した。テーマを「複製される感性」とし、世界的に高い評価を受けている森山大道氏の作品を取り上げた。学生自らが森山氏の作品の展示・見せ方を考え観覧者に作品

の見どころを直に伝えた。

第六回入江泰吉記念写真賞受賞作品展では、中古樹氏の「路傍の光」が最優秀に選定され記念に写真集の発行、作品展を開催した。また、併せて催されたならPHOTO CONTESTの各賞受賞者の作品展も同時に開催した。

入江泰吉展として、入江泰吉「大和路の国宝」、生誕120年入江泰吉自選「奈良大和路春夏秋冬」展、入江泰吉「大和路五十三景」、入江泰吉「大和路三十三景」を開催した。

講座として写真の撮り方をアドバイスする「高畑デジタル写真倶楽部」を計4回開催し、デジタルカメラ普及に取り組んだ。また、奈良県高等学校総合文化祭写真部門展、高校生の見た奈良大和路展を開催し高校生達の発表の場を提供した。

催事等の開催回数 68回 参加人数 34,684人

#### ○入江泰吉旧居

旧居を訪れた外国人の減少に伴い、観覧者が減少した。開館10周年を迎え「入江泰吉が生きた奈良」と称し特別展示「観音院に集った人々」、トークイベント「入江泰吉の奈良」、ゆかりのスポットをめぐるツアー「入江泰吉さんぽみちスペシャル」を開催した。

催事等の開催回数 45回 参加人数 715人

#### (4) 勤労者福祉サービス事業

##### [指定管理施設]

管理施設の入館者数は以下のとおりであった。 ※( )内は対前年度増減率

奈良市勤労者総合福祉センター 入館者数 63,036人 (9.3%)

施設利用者は、前年度より約5,300人増加した。また、催事等の開催回数を増やしたが、参加人数は約500人減少した。

##### (事業内容)

地域経済の担い手である中小企業勤労者を対象に、福祉の向上及び余暇活用の充実、生活の安定を図るため、総合的な福祉事業を実施した。

#### ○奈良市勤労者総合福祉センター

教養、文化の向上を目的に「パソコン教室」、「語学教室(英語、韓国語、スペイン語)」、「陶芸教室」等を開催した。

生涯スポーツとして「社交ダンス」、「フラダンス教室」、「ヨガ教室」を開催し、未就学児と保護者を対象とした「リトミック教室」を開催した。

地域連携事業として、佐保台地区自治連合会が開催された「佐保台ふれあいフェスティバル」においてピククルボールやモルックの体験会を実施した。

催事等の開催回数 87回 参加人数 6,576人

○勤労者福祉サービスセンター事業部門

企業内福祉をサポートする役目を担い、勤労者の福利厚生の実施に役立つ事業を実施した。具体的には、市内の中小企業の事業所に対し、福祉事業の内容について広報を行うとともに加入の促進を図った。また、福利厚生事業として会員及びその家族を対象に、施設割引利用、会員の相互扶助を基本とした各種給付事業、健康維持・健康増進事業及び文化各種教室の受講費補助を行う健康管理事業並びに貸付斡旋事業を実施した。

本施設における各事業に対する利用者数

施設利用事業		14,923人
健康管理事業		2,443人
給付事業		939人
厚生事業（催事等）	3回	778人

貸借対照表  
令和8年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
<b>I 資産の部</b>				
1. 流動資産				
現金預金	236,890,979	264,607,268	△ 27,716,289	
現金	4,616,675	3,595,221	1,021,454	
当座預金	2,000	32,000	△ 30,000	
普通預金	232,272,304	260,980,047	△ 28,707,743	
未収金	12,288,472	15,978,885	△ 3,690,413	
前払金	1,471,170	1,635,030	△ 163,860	
商品	3,064,269	3,049,823	14,446	
貯蔵品	1,188,454	1,067,601	120,853	
立替金	0	41,440	△ 41,440	
流動資産合計	254,903,344	286,380,047	△ 31,476,703	
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
普通預金	40,000,000	0	40,000,000	
定期預金	10,000,000	50,000,000	△ 40,000,000	
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0	
(2) 特定資産				
財政変動準備積立金	132,000,000	132,000,000	0	
減価償却引当預金	2,738,791	2,738,791	0	
書道芸術振興積立金	37,416,990	37,006,552	410,438	
永年在会給付事業積立預金	4,350,742	4,350,742	0	
運営基金積立準備預金	5,803,291	5,803,291	0	
共済事業引当預金	50,523	50,523	0	
記念事業費積立預金	5,484,983	3,484,983	2,000,000	
特定資産合計	187,845,320	185,434,882	2,410,438	
(3) その他の固定資産				
車両運搬具	1	1	0	
什器備品	312,212	508,336	△ 196,124	
リース資産	18,775,680	24,628,560	△ 5,852,880	
預託金	9,140	9,140	0	
其他固定資産合計	19,097,033	25,146,037	△ 6,049,004	
固定資産合計	256,942,353	260,580,919	△ 3,638,566	
資産の部合計	511,845,697	546,960,966	△ 35,115,269	
<b>II 負債の部</b>				
1. 流動負債				
未払金	70,276,548	95,458,841	△ 25,182,293	
前受金	1,488,730	792,100	696,630	
預り金	23,060,327	18,225,453	4,834,874	
リース債務	5,608,680	5,608,680	0	
未払消費税等	12,129,600	15,851,200	△ 3,721,600	
未払法人税等	71,000	10,831,000	△ 10,760,000	
流動負債合計	112,634,885	146,767,274	△ 34,132,389	
2. 固定負債				
リース債務	13,167,000	19,019,880	△ 5,852,880	
固定負債合計	13,167,000	19,019,880	△ 5,852,880	
負債の部合計	125,801,885	165,787,154	△ 39,985,269	
<b>III 正味財産の部</b>				
1. 指定正味財産				
寄付金	86,003,617	86,003,617	0	
指定正味財産合計	86,003,617	86,003,617	0	
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(36,003,617)	(36,003,617)	(0)	
2. 一般正味財産	300,040,195	295,170,195	4,870,000	
(うち特定資産への充当額)	(151,841,703)	(149,431,265)	(2,410,438)	
正味財産の部合計	386,043,812	381,173,812	4,870,000	
負債及び正味財産合計	511,845,697	546,960,966	△ 35,115,269	

収 支 計 算 書  
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	63,000	121,000	△ 58,000	
② 特定資産運用益				
特定資産受取利息	2,000	242,167	△ 240,167	
③ 受取入会金				
受取入会金	175,000	124,500	50,500	
④ 受取会費				
受取会費	35,651,000	33,653,700	1,997,300	
⑤ 事業収益				
入場料収益	34,356,000	5,631,100	28,724,900	
受講料収益	75,702,000	54,240,390	21,461,610	
利用料金収益	9,007,000	7,179,290	1,827,710	
出品料収益	600,000	534,000	66,000	
参加費収益	1,807,000	1,688,350	118,650	
小売業収益	3,724,000	2,486,230	1,237,770	
受取手数料	2,800,000	5,399,340	△ 2,599,340	
事業受託収益	350,000	272,413	77,587	
共催事業管理収益	12,985,000	20,418,000	△ 7,433,000	
その他収益	3,831,000	4,134,473	△ 303,473	
⑥ 受取補助金等				
受取指定管理料	1,146,688,000	1,154,285,940	△ 7,597,940	
受取地方公共団体補助金	26,002,000	26,002,000	0	
⑦ 受取負担金				
受取負担金	19,094,000	17,772,200	1,321,800	
⑧ 雑収益				
受取利息	17,000	1,081,903	△ 1,064,903	
雑収益	2,399,000	5,439,416	△ 3,040,416	
運営協力金等収益	2,256,000	2,317,302	△ 61,302	
経常収益計	1,377,509,000	1,343,023,714	34,485,286	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
(2) 經常費用				
① 事業費				
給料手当	404,751,000	388,032,354	16,718,646	
臨時雇賃金	65,792,000	58,108,155	7,683,845	
福利厚生費	77,571,000	74,805,794	2,765,206	
視察費	50,000	0	50,000	
旅費交通費	1,354,000	820,243	533,757	
通信運搬費	8,822,000	6,519,399	2,302,601	
減価償却費	5,907,000	5,959,357	△ 52,357	
地方公共団体帰属備品等購入費	57,000	56,018	982	
消耗什器備品費	395,000	0	395,000	
消耗品費	25,648,000	14,723,592	10,924,408	
修繕費	12,261,000	8,948,262	3,312,738	
印刷製本費	10,807,000	7,304,026	3,502,974	
燃料費	1,355,000	827,217	527,783	
光熱水料費	277,046,000	270,116,516	6,929,484	
賃借料	22,060,000	17,453,066	4,606,934	
保険料	8,155,000	6,617,236	1,537,764	
諸謝金	42,635,000	33,497,765	9,137,235	
租税公課	56,290,000	55,466,742	823,258	
支払負担金	848,000	695,213	152,787	
支払助成金	47,665,000	41,932,239	5,732,761	
委託費	324,496,000	284,682,798	39,813,202	
会議費	110,000	90,500	19,500	
支払手数料	7,455,000	3,764,111	3,690,889	
広告宣伝費	3,273,000	1,679,000	1,594,000	
仕入	1,666,000	1,542,215	123,785	
交際費	76,000	75,500	500	
原材料費	1,299,000	1,066,670	232,330	
医薬材料費	1,401,000	1,399,500	1,500	
雑費	136,000	13,524	122,476	
② 管理費				
役員報酬	2,683,000	2,570,880	112,120	
給料手当	26,007,000	33,882,921	△ 7,875,921	
福利厚生費	5,397,000	6,144,868	△ 747,868	
研修費	172,000	44,000	128,000	
旅費交通費	15,000	9,060	5,940	
通信運搬費	467,000	388,371	78,629	
減価償却費	90,000	89,647	353	
消耗品費	541,000	307,202	233,798	
修繕費	8,000	0	8,000	
印刷製本費	6,000	5,270	730	
燃料費	43,000	26,000	17,000	
賃借料	4,215,000	3,067,680	1,147,320	
保険料	187,000	186,770	230	
諸謝金	648,000	393,000	255,000	
租税公課	72,000	114,338	△ 42,338	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
支払負担金	257,000	231,498	25,502	
委託費	4,296,000	3,998,500	297,500	
支払手数料	188,000	181,100	6,900	
広告宣伝費	138,000	135,300	2,700	
経常費用計	1,454,811,000	1,337,973,417	116,837,583	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 77,302,000	5,050,297	△ 82,352,297	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 77,302,000	5,050,297	△ 82,352,297	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
雑損失				
雑損失	0	109,297	△ 109,297	
経常外費用計	0	109,297	△ 109,297	
当期経常外増減額	0	△ 109,297	109,297	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 77,302,000	4,941,000	△ 82,243,000	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 77,302,000	4,941,000	△ 82,243,000	
法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	0	
当期一般正味財産増減額	△ 77,373,000	4,870,000	△ 82,243,000	
一般正味財産期首残高	295,171,000	295,170,195	805	
一般正味財産期末残高	217,798,000	300,040,195	△ 82,242,195	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	86,004,000	86,003,617	383	
指定正味財産期末残高	86,004,000	86,003,617	383	
III 正味財産期末残高	303,802,000	386,043,812	△ 82,241,812	

# 正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	121,000	6,935	114,065	
② 特定資産運用益				
特定資産受取利息	242,167	86,970	155,197	
③ 受取入会金				
受取入会金	124,500	154,000	△ 29,500	
④ 受取会費				
受取会費	33,653,700	35,048,700	△ 1,395,000	
⑤ 事業収益				
入場料収益	5,631,100	5,963,200	△ 332,100	
受講料収益	54,240,390	49,408,270	4,832,120	
利用料金収益	7,179,290	7,621,540	△ 442,250	
出品料収益	534,000	532,000	2,000	
参加費収益	1,688,350	1,263,400	424,950	
小売業収益	2,486,230	2,592,570	△ 106,340	
受取手数料	5,399,340	3,984,095	1,415,245	
事業受託収益	272,413	446,804	△ 174,391	
共催事業管理収益	20,418,000	12,345,000	8,073,000	
その他収益	4,134,473	2,088,111	2,046,362	
⑥ 受取補助金等				
受取指定管理料	1,154,285,940	1,218,084,273	△ 63,798,333	
受取地方公共団体補助金	26,002,000	26,002,000	0	
受取民間助成金	0	30,000	△ 30,000	
⑦ 受取負担金				
受取負担金	17,772,200	16,837,950	934,250	
⑧ 雑収益				
受取利息	1,081,903	326,584	755,319	
雑収益	5,439,416	5,566,207	△ 126,791	
運営協力金等収益	2,317,302	2,267,769	49,533	
経常収益計	1,343,023,714	1,390,656,378	△ 47,632,664	

科 目	当 年 度	前 年 度	增 減	備 考
(2) 經常費用				
① 事業費				
給料手当	388,032,354	413,724,828	△ 25,692,474	
臨時雇賃金	58,108,155	49,241,875	8,866,280	
福利厚生費	74,805,794	79,074,939	△ 4,269,145	
旅費交通費	820,243	474,310	345,933	
通信運搬費	6,519,399	7,899,297	△ 1,379,898	
減価償却費	5,959,357	4,483,567	1,475,790	
地方公共団体帰属備品等購入費	56,018	627,422	△ 571,404	
消耗什器備品費	0	206,142	△ 206,142	
消耗品費	14,723,592	16,544,133	△ 1,820,541	
修繕費	8,948,262	8,565,812	382,450	
印刷製本費	7,304,026	7,331,205	△ 27,179	
燃料費	827,217	992,740	△ 165,523	
光熱水料費	270,116,516	281,389,028	△ 11,272,512	
賃借料	17,453,066	18,119,811	△ 666,745	
保険料	6,617,236	5,319,837	1,297,399	
諸謝金	33,497,765	29,505,509	3,992,256	
租税公課	55,466,742	59,694,110	△ 4,227,368	
支払負担金	695,213	810,260	△ 115,047	
支払助成金	41,932,239	40,296,962	1,635,277	
委託費	284,682,798	295,712,442	△ 11,029,644	
会議費	90,500	3,000	87,500	
支払手数料	3,764,111	4,801,318	△ 1,037,207	
広告宣伝費	1,679,000	1,253,500	425,500	
仕入	1,542,215	1,175,887	366,328	
交際費	75,500	61,500	14,000	
原材料費	1,066,670	1,294,150	△ 227,480	
医薬材料費	1,399,500	1,286,450	113,050	
雑費	13,524	610,480	△ 596,956	
② 管理費				
役員報酬	2,570,880	2,616,180	△ 45,300	
給料手当	33,882,921	47,486,376	△ 13,603,455	
福利厚生費	6,144,868	9,076,618	△ 2,931,750	
研修費	44,000	129,300	△ 85,300	
旅費交通費	9,060	7,180	1,880	
通信運搬費	388,371	387,231	1,140	
減価償却費	89,647	134,404	△ 44,757	
消耗品費	307,202	327,702	△ 20,500	
修繕費	0	133,100	△ 133,100	
印刷製本費	5,270	0	5,270	
燃料費	26,000	27,000	△ 1,000	
賃借料	3,067,680	3,046,010	21,670	
保険料	186,770	3,200	183,570	
諸謝金	393,000	1,402,500	△ 1,009,500	
租税公課	114,338	79,444	34,894	

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
支払負担金	231,498	219,781	11,717	
委託費	3,998,500	2,920,500	1,078,000	
支払手数料	181,100	174,319	6,781	
広告宣伝費	135,300	906,400	△ 771,100	
雑費	0	20	△ 20	
経常費用計	1,337,973,417	1,399,577,779	△ 61,604,362	
評価損益等調整前当期経常増減額	5,050,297	△ 8,921,401	13,971,698	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	5,050,297	△ 8,921,401	13,971,698	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
受取補助金等				
受取地方公共団体補助金	0	11,461,935	△ 11,461,935	
経常外収益計	0	11,461,935	△ 11,461,935	
(2) 経常外費用				
① 固定資産除去損				
車両運搬具除去損	0	1	△ 1	
② 特別退職金				
特別退職金	0	11,461,935	△ 11,461,935	
③ 雑損失				
雑損失	109,297	6,302,408	△ 6,193,111	
経常外費用計	109,297	17,764,344	△ 17,655,047	
当期経常外増減額	△ 109,297	△ 6,302,409	6,193,112	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	4,941,000	△ 15,223,810	20,164,810	
税引前当期一般正味財産増減額	4,941,000	△ 15,223,810	20,164,810	
法人税、住民税及び事業税	71,000	10,831,000	△ 10,760,000	
当期一般正味財産増減額	4,870,000	△ 26,054,810	30,924,810	
一般正味財産期首残高	295,170,195	321,225,005	△ 26,054,810	
一般正味財産期末残高	300,040,195	295,170,195	4,870,000	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	86,003,617	86,003,617	0	
指定正味財産期末残高	86,003,617	86,003,617	0	
III 正味財産期末残高	386,043,812	381,173,812	4,870,000	

# 財 産 目 録

令和8年3月31日現在

(単位：円)

科	目	金 額
I 資産の部		
1. 流動資産		
	現金預金	236,890,979
	現金	4,616,675
	当座預金	2,000
	ゆうちょ銀行	2,000
	普通預金	232,272,304
	南都銀行	231,979,327
	近畿労働金庫	232,923
	奈良県農業協同組合	60,054
	未収金	12,288,472
	前払金	1,471,170
	商品	3,064,269
	貯蔵品	1,188,454
	流動資産合計	254,903,344
2. 固定資産		
基本財産		
	普通預金	40,000,000
	南都銀行	10,000,000
	近畿労働金庫	10,000,000
	奈良県農業協同組合	10,000,000
	奈良信用金庫	10,000,000
	定期預金	10,000,000
	大和信用金庫	10,000,000
特定資産		
	財政変動準備積立金	132,000,000
	減価償却引当預金	2,738,791
	書道芸術振興積立金	37,416,990
	永年在会給付事業積立預金	4,350,742
	運営基金積立準備預金	5,803,291
	共済事業引当預金	50,523
	記念事業費積立預金	5,484,983
その他固定資産		
	車両運搬具	1
	什器備品	312,212
	リース資産	18,775,680
	預託金	9,140
	固定資産合計	256,942,353
	資産合計	511,845,697
II 負債の部		
1. 流動負債		
	未払金	82,477,148
	前受金	1,488,730
	預り金	23,060,327
	リース債務	5,608,680
	流動負債合計	112,634,885
2. 固定負債		
	リース債務	13,167,000
	固定負債合計	13,167,000
	負債合計	125,801,885
	正味財産	386,043,812